

# 連携支援たより



北上市在宅医療介護連携支援センター

在宅きたかみ

## ★令和7年度第2回北上市在宅医療介護連携推進協議会を開催しました★

とき：令和7年12月22日(月)午後6時30分～8時  
 ところ：北上済生会病院 大会議室 出席者：32名  
 報告

・令和7年度事業中間報告  
 協議(意見交換)

・きたかみ型地域包括ケアシステム構築の成果と課題  
 について(北上市長寿介護課、在宅きたかみ説明)

情報提供

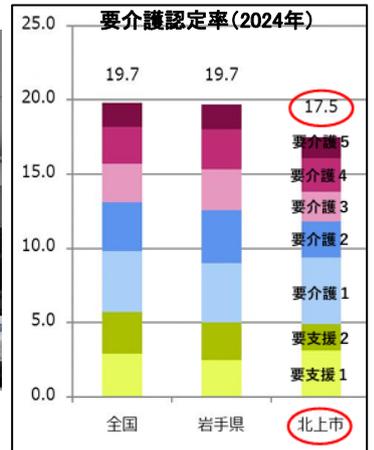
・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について(北上市健康づくり課)

今年度第2回目の協議会を開催しました。例年どおり在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況について説明したあと、在宅医療・介護連携拠点として設置・運営してきた“在宅きたかみ”が10年を経過し、きたかみ型地域包括ケアシステム構築の当初目標であった2025年を迎えた年でもあることから、これまでの振り返りと現時点での達成度を様々なデータを使いながら説明しました。

介護保険分野では、要介護認定率が全国、岩手県平均より2ポイント以上低いことや、在宅サービスと施設系サービスの給付バランスがよいことなどが示されました。

医療分野においては、介護施設(老人ホーム等)での看取りが増加傾向にあるほか、退院支援等在宅医療介護連携に関する算定が特筆して高いことなどが示され、医療、介護両面での連携が着実に進んでいることがわかりました。

高齢化のピークを迎える2040年に向けて、次なる目標を掲げながら今後も“きたかみ型地域包括ケア”の深化に取り組む必要があります。協議会での説明資料は在宅きたかみホームページで公開しておりますのでご覧ください。



## ★北上市在宅医療介護連携推進協議会の各部会を開催しました★

### 第3回北上市地域リハビリテーション部会

令和8年1月15日(木) 午後1時30分～3時  
 北上済生会病院 大会議室 出席11名

#### 【協議事項】

- ①地域リハビリテーション関係専門職業実態調査結果
- ②関係専門職のニーズに対応した研修会等の開催
- ③令和8年度地域リハビリテーション部会活動方針(案)



業務実態調査の結果について事務局から報告があり、課題としては専門職の人材不足や情報連携の改善などが出され、部会員で共有しました。

研修会の開催については次年度に実施することとして、令和8年度活動方針の重点事項に掲げ、部会員の了承を得ました。

業務実態調査結果資料は、在宅きたかみホームページに掲載中です。ご協力ありがとうございました。

### 第3回北上市入退院支援作業部会

令和8年2月18日(水) 午後1時30分～3時  
 北上済生会病院 大会議室 出席16名

#### 【協議事項】

- ①入退院支援ハンドブック活用連携会の開催
- ②医療と介護の情報提供書(在宅情報)の運用
- ③令和8年度入退院支援作業部会活動方針(案)



昨年10月23日に開催した「入退院支援ハンドブック連携会」の主にアンケート結果について説明し意見交換しました。また、医療と介護の情報提供書の様式について、来年度に見直し

をすることとし、その使い勝手について部会員の意見を聴取しました。令和8年度は連携会開催と様式の見直しについてを重点事項とし、また、部会開催を1回減の2回とすることで活動方針に盛り込み了承されました。

## ★令和7年度ケアマネジメント研修「災害について考える」が開催されました★

とき:令和7年12月11日(木)午後2時~4時30分  
 ところ:hoKko ふれあいホール 出席者:36名  
 講義

- ①北上市避難行動要支援者避難支援計画について  
 講師/北上市福祉部地域福祉課 佐藤 大輝 氏
- ②今できる防災対策とマイタイムラインについて  
 講師/岩手県立大学社会福祉学部 鈴木 あゆみ 氏  
 /アイライン岩手の会 小笠原 綾子 氏

グループワーク

「自分たちでできそうなこと、次回に向けて  
 知りたいことを話し合う」



令和7年度ケアマネジメント研修のお題は「災害」、その第2回目を多数のケアマネジャー等を受講者として開催されました。今回は、DWATの活動を通して、介護保険サービスとの調整やマネジメントの難しさを学びましたが、今回は日頃から準備しておくべき防災対策やケアマネジャーができることについて話し合いました。



## ★令和7年度意思決定支援研修「わたしのきぼうノートをきっかけに」を開催★



令和7年度北上市意思決定支援研修会

～「わたしのきぼうノート」をきっかけに～  
 医療・介護・福祉に関わるすべての皆さんへ向けて

北上市民が幸せに歳を重ねられるように、一人一人の考え方や価値観、人生観について聴き、ともに将来のことを考える「心づもり」の重要性や難しさについて、今回は「わたしのきぼうノート」を実際に書いてみたり、意見交換しながら、みんなで一緒に考え、学び合う研修会です。「わたしのきぼうノート作成班」スタッフのみなさまを講師や助言者に迎え、講義やグループワーク形式で行います。

日時:令和8年 2月6日(金) 13:30~16:30  
 場所:北上済生会病院 2階 大会議室  
 対象:医療・介護・福祉・行政の関係者(参加無料)

主催 北上医師会、北上市、北上市在宅医療介護連携支援センター



ここ2年ほど開催を見送っていた「意思決定支援研修会」について、市民の手づくりで市が取りまとめ、平成30年に発行、令和6年に第2版となった「わたしのきぼうノート」の活用に注目し、医療や介護、福祉の関係者がどんな関わりを持って市民と接し、信頼関係を築きながら、このノートを啓発・普及、そして活用していくかを話し合いました。

ケアマネジャーを中心に34名の医療・介護・福祉・行政・団体関係者が6つのグループに分かれて、実際にノートを書いてみての情報交換会を2つのテーマに分けて行いました。「心づもりのまち」きたかみは着実に進んでいると強く感じました。



北上市から修了証  
 がみんなに交付さ  
 れたよ。いいね!



星野先生の講義からスタート



書きっこ会/みんな真剣です

## ★令和7年度第2回「ハブラボきたかみ」に「在宅きたかみ」が参加しました★

令和7年度第2回 ハブラボきたかみ

参加申込みが70名  
 を超え大盛況でした

「つながりたくない、いらぬ」  
 を考える

令和8年 2月9日(月) 14:00~16:00

北上市生涯学習センター 第1・3学習室

キーノートトーク

「つながりたくない」をみんなで考えるヒント  
 社会医療法人花北病院 精神保健福祉士 伊藤美穂氏

ストーリートーク

「つながりたくない」とわたし  
 社会福祉法人方光会  
 NPO法人わらわすグループ  
 立花地区自治振興協議会

理事長 川村 護 氏  
 理事長 大内 玲子 氏  
 今野 マユミ 氏



「つながりたくない、いらぬ」を考えると題し、第2回ハブラボきたかみが開催され、市民の身近な支援者として地域で活躍している市民と、医療・介護・福祉・行政の専門職の方々が、同じテーブルでつながり合う新たな取り組みを行いました。

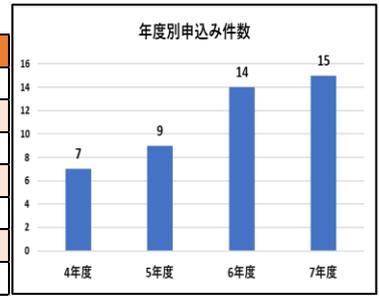
このようなつながりの場は、地域コミュニティを大切に育ててきた北上市だからこそできるのだと思います。みんなで重なり合い、分野、職種、地域を越えてつながりあうまちを目指し、これからも様々な交流の場をつくっていきましょう。

# ★令和7年度「認定看護師等による出前研修」がますます盛り上がっています★

前号でも広報した出前研修の開催状況について、12月から2月末までの5件を引き続きご紹介いたします。今年度もたくさんの申込みがありました。締め切り後も申込みをいただきましたがご対応できず申し訳ございませんでした。受講者のアンケート結果は、随時ホームページに公開しておりますので、そちらも参考としてご覧ください。

【令和7年度申込状況(最終結果)】

研修分野		事業所種別	
感染管理	4	特別養護老人ホーム	4
皮膚・排泄ケア	2	介護老人保健施設	1
摂食・嚥下障害看護	1	有料老人ホーム等	3
認知症看護	3	認知症グループホーム	2
緩和ケア	3	(看護)小規模多機能ホーム	3
救急看護	2	短期入所施設	2
合計	15	合計	15



## ★感染管理★

令和7年12月15日(月)/小規模多機能ホームわが家  
 講師:北上済生会病院 感染制御実践看護師  
 小原 直子 氏 演題:「高齢者施設における感染症対策の基本と発生時の対応」  
 高齢者施設での感染症対策はとても重要な仕事です。職員自らが、「持ち込まない」「広げない」ことについて、改めてしっかりと学ぶことができました。



## ★皮膚・排泄ケア★

令和8年1月7日(水)/特別養護老人ホームえびす  
 講師:岩手県立中部病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護師  
 千田 由美子 氏 演題:「おむつ交換」  
 オムツ交換の手技やASパットの活用について、実際のケア用品を使いながら丁寧にわかりやすく学ぶことができました。新たな技術も習得し、職員にとって有意義な研修となりました。



## 令和8年1月21日(水)/ケアハウスエスカール

講師:岩手県立中部病院 感染管理認定看護師  
 高橋 睦 氏 演題:「感染性胃腸炎(嘔吐物処理演習)」  
 感染性胃腸炎は感染力も強く、生命にかかわる危険性もあるため、その際の嘔吐物処理技術について、施設のマニュアルを確認しながら実践形式で研修することができました。



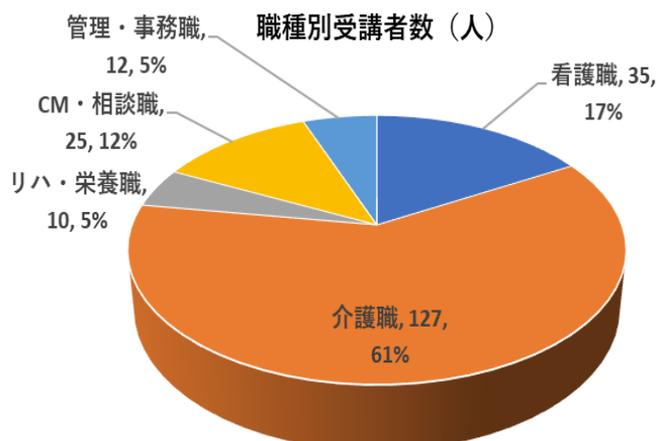
## ★認知症看護★

令和8年2月4日(水)/ケアハウス常心の里  
 講師:岩手県立中部病院 認知症看護認定看護師  
 小原 久美子 氏 演題:「認知症ケア」  
 介護施設では認知症高齢者をケアする機会が多くありますが、当事者への接し方などを理解するペア・ワークも取り入れながら認知症の基礎知識をしっかりと学ぶことができました。



## ★救急看護★

令和8年2月20日(金)/ニチイケアセンター北上駅前  
 講師:岩手県立中部病院 救急看護認定看護師  
 中村 舞 氏 演題:「急変対応」  
 利用者の意識消失など心臓マッサージの症例が発生したことから、AED操作を中心とした演習を実施しました。急変時の初期対応など命を守る重要なスキルを学ぶことができました。



2026.2.20現在 n=209人

## ★「第78回 済生会学会」★

令和8年2月15日(日) 滋賀県大津市

“済生会学会”において、在宅医療・介護連携に関する一般演題を「ポスター」会場で以下のとおり発表してきました。

【演題分類:多職種連携】

「提言:キュア・ケア、本質主義・社会構成主義、連携」

【演題分類:新たな取組】

「地域と医療の架け橋を目指して」～モバイルクリニックを例に～



在宅きたかみ  
菊池涼子課長

在宅きたかみ  
石川晴基参与

## ★市町村職員等在宅医療・介護連携研修★

令和8年2月13日(金) 盛岡市

岩手県主催(岩手県医師会委託)の表記研修会の実務研修編を受講してきました。講師に新潟市医師会の斎川克之氏を迎え、「コーディネーター機能」についての講義と「多職種連携の進め方」と題したグループワークで、県内市町村の関係者と楽しく交流を深めることができました。



## ◆◆ Topics 12月~2月 ◆◆

- 12月 3日(水) 地域包括支援センター展勝地エリアの「地域ケア個別会議」に出席しました
- 12月 8日(月) 令和7年度第2回「北上市在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会」を開催しました
- 12月 9日(火) 「在宅医療人材育成研修会」に出席しました
- 12月 11日(木) 「ケアマネジメント研修(災害編)」に出席しました
- 12月 15日(月) 「認定看護師等による出前研修」を小規模多機能ホームわが家で開催しました
- 12月 22日(月) 令和7年度第2回「北上市在宅医療介護連携推進協議会」を開催しました
- 1月 7日(水) 「認定看護師等による出前研修」を特別養護老人ホームえびすで開催しました
- 1月 15日(木) 令和7年度第3回「北上市地域リハビリテーション部会」を開催しました
- 1月 18日(日) 厚労省主催「在宅医療グループワーク研修会」を受講しました
- 1月 21日(水) 「認定看護師等による出前研修」をケアハウスエスカルで開催しました
- 1月 24日(土) 北上医師会主催「緩和ケア医療研修会」を受講しました
- 1月 28日(水) 「身寄りがいない方の支援のためのガイドライン作成ワーキンググループ」に出席しました
- 2月 4日(水) 「認定看護師等による出前研修」をケアハウス常心の里で開催しました
- 2月 6日(金) 令和7年度意思決定支援研修「わたしのきぼうノートをきっかけに」を開催しました
- 2月 9日(月) 令和7年度第2回「ハブラボきたかみ」に参加しました
- 2月 13日(金) 岩手県主催「市町村職員等在宅医療研修会(実務研修)」を受講しました
- 2月 15日(日) 第78回済生会学会(大津市)に参加しポスター発表をしました
- 2月 18日(水) 令和7年度第3回「北上市入退院支援作業部会」を開催しました
- 2月 20日(金) 「認定看護師等による出前研修」をニチイケアセンター北上駅前で開催しました

## 告知

今年度計画しておりました「医療従事者向け権利擁護研修会」と「第2回入退院支援ハンドブック活用連携会」は令和8年度に繰り下げて開催しますのでご了承ください。

「認定看護師等による出前研修」については12月22日で今年度の受付を終了しました。ご協力いただきました岩手県看護協会北上支部様、認定看護師等の皆様にご感謝申し上げます。

## 編集後記

今冬は日本海側を中心に災害級の豪雪となりました。北上地域の積雪の多さも数年ぶりでしょうか。毎年のことながら自宅回りの除雪は、体力が落ちてきた自分には身に応えませぬ。そんな年は一層春が待ち遠しくなりますね。皆さんは春が来たなあと感じる瞬間はどんな時でしょうか。(H)

## 発行/北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市九年橋3丁目 15番 33号  
北上済生会病院1階  
TEL: 0197-65-6121 FAX: 0197-65-6122  
HP: <http://www.zaitaku-kitakami.com/>

